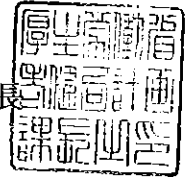


老計発第0327001号  
平成21年3月27日

各 都道府県介護保険担当部（局）長 殿

厚生労働省老健局計画課長



「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」第72条第2項及び第97条第7項等に規定する自己評価・外部評価の実施等について」の一部改正について

「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」第72条第2項及び第97条第7項等に規定する自己評価・外部評価の実施等について」（平成18年10月17日老計発第1017001号本職通知）を別添のとおり一部改正し、平成21年4月1日から適用することとしたので通知する。







なお、都道府県は、当該実施回数を用いることについて、あらかじめ、当該事業所の指定及び監督を行っている市町村と協議し、同意を得るものとする。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価結果」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村の職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価結果」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

3 (略)

3 自己評価の実施  
 事業者は、各都道府県の定める自己評価に係る項目により、自ら提供するサービス等について、評価を行うものとする。人評の代表者の責任の下では、当該事業者が設置・運営して実施する項目の参考例に基づいては、各都道府県の自己評価に係る項目の参考例に基づいては、別紙1のとおりであること。

4 (1) 外部事業者から都道府県対応する事業者が共通の能力を有していること。また、都道府県の定める外部評価に係る項目の参考例、別紙3及び別紙1のとおりであること。

イ 外部事業者から都道府県対応する事業者が共通の能力を有していること。また、都道府県の定める外部評価に係る項目の参考例、別紙3及び別紙1のとおりであること。

4 (1) 外部事業者から都道府県対応する事業者が共通の能力を有していること。また、都道府県の定める外部評価に係る項目の参考例、別紙2の1のとおりであること。

イ 外部事業者から都道府県対応する事業者が共通の能力を有していること。また、都道府県の定める外部評価に係る項目の参考例、別紙2の2、別紙3の1及び別紙3の2のとおりであること。

(2) 評価機関による外部評価の実施  
 事業者は、評価機関に申し込んだ後、同機関との間で評価業務委託契約を結び、その契約に基づき同機関に対して

(2) 評価機関による外部評価の実施  
 事業者は、評価機関に申し込んだ後、同機関との間で評価業務委託契約を結び、その契約に基づき同機関に対して







改正前

改正後

(別紙1)  
小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所に係る自己評価及び外部評価の項目(参考例)

(別紙1)  
小規模多機能型居宅介護事業所及び外部評価の項目(参考例)

項目番号	項目	小項目
I 理念に基づく運営		
1 理念の共有		
1	地域密着型サービスの理念	地域の中でその人らしく暮らすこと、地域を築き、支え、支えたいという理念を共有し、実践している
2	理念の共有と日々の取り組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる
3	家族や地域への浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らすこと、家族や地域の理解を深め、地域の人々を取り組んでいる
2 地域との支えあい		
4	隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人々と積極的に声をかけあっている。日常的に声かけあいができ、お互いに支えあっている

項目番号	項目	小項目
I 理念に基づく運営		
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの理念を共有し、実践している
2	事業所と地域とのつきあい	利用者が地域とつながりながら暮らすこと、地域の人々を取り組んでいる
3	事業所の力を活かした地域貢献	事業所は、実践を通して地域の課題を解決し、地域に貢献している
4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサニタリー等について話し合い、向上を図っている
5	市町村との連携	市町村担当者や関係機関と連携し、地域課題の解決に取り組んでいる





		ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見られること、防止に努める
4	理念を実践するための体制	
1 2	契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い、理解・納得を図っている
1 3	運営に関する利用者の意見の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職会に反映させ、それらに反映させている
1 4	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしが健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に報告している
1 5	運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職会に反映させている
1 6	運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設けている
1 7	柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要十分な話し合いや勤務の調整に努めている
1 8	職員の異動等への配慮	運営者や職員は、利用者が馴染みのない環境に配られる支障を受け

		給与水準、労働時間、やりがいなどが向上している
1 3	職員を育てる取り組み	代表者は、管理職員の力量を伸ばすために、研修などを実施している
1 4	同業者との交流を通じた向上	代表者は、同業者や職会、同業ネットワークの活動を通じて、相互訪問等の質を向上させている
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
1 5	初期に築く本人との信頼関係	サードパーティの利用者が安心して利用できることを保つていく
1 6	初期に築く家族等との信頼関係	サードパーティの利用者が安心して利用できることを保つていく
1 7	初期対応の見極めと支援	サードパーティの利用者が安心して利用できることを保つていく
1 8	本人と共に過ごす	職員は、本人を介護される一方





3 1	支援 利用者同士の関係の支援	切れないよう、支援に努めてい る 利用者同士の関係を利用して、一 人ひとりが孤立せず、支えあ うに努めている
3 2	関係を断ち切ら ない取り組み	サービス利用（契約）が終了し ても、継続的な関わり合いを必 要とする利用者や家族には、関 係を断ち切らない
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		
1 一人ひとりの把握		
3 3	1 4 思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の 希望、意向の把握に努めている。 困難な場合は、本人本位に検討 している
3 4	これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの 暮らし方、生活環境、これまで のサービスの経過等の把握に 努めている
3 5	暮らしの現状の把握	一人ひとりの1日の過ごし方、 心身状態、有する力等の現状を 総合的に把握している
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		
3 6	1 5 チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らし続けるた めの課題とケアのあり方につ いて、本人、家族、必要なら は関係者やケア提供者の意見 を聞き、それぞれの役割を 分担し、必要に応じて、話し 合い、それぞれの役割を 果たすためのケア計画を 作成している

3 3	1 2 重度化や終末期の 方向性や支援 の共有と支援	重度化した場合や終末期のあ らゆる方について、早い段階 から、本人・家族等と話し合 い、説明しながら共有し、地 域の関わり合いを築いてい る
3 4	急変や事故発生 時の備え	利用者の急変や事故発生時に 備えて、全ての職員は定期的 に初期対応の訓練を付けて いる
3 5	1 3 災害対策	火災や地震、水害等の災害時 に、昼夜を問わず利用者が 避難でき、方法を全職員が 身につけておくこと、地域 との協力体制を築いている
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
3 6	1 4 一人ひとりの人 格の尊重とプ ライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、 誇りやプライバシーを損ね ない言葉かけや対応をして いる
3 7	3 7 利用者の希望 や自己決定 の支援	日常生活の中で本人が思い や希望を表明したり、自己 決定できるように働きかけ ている
3 8	日々の暮らし の充実	職員側の決まりや都合を優 先し、一人ひとりの暮らし の充実を図ることを目指 している

37	37	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に、見直しを対応は、話し合い、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の期間に、見直しを対応は、話し合い、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の期間に、見直しを対応は、話し合い、現状に即した介護計画を作成している
38	38	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、入居や介護実践について	日々の様子やケアの実践・結果、入居や介護実践について	日々の様子やケアの実践・結果、入居や介護実践について
39	39	多機能性を活かした柔軟な支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に活かして柔軟な支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に活かして柔軟な支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に活かして柔軟な支援
40	40	地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力している	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力している	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力している
41	41	他のサービスへの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域のサービスや他のサービスを利用している	本人の意向や必要性に応じて、地域のサービスや他のサービスを利用している	本人の意向や必要性に応じて、地域のサービスや他のサービスを利用している
42	42	地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、地域包括支援センター等と協働している	本人の意向や必要性に応じて、地域包括支援センター等と協働している	本人の意向や必要性に応じて、地域包括支援センター等と協働している

39	39	身だしなみの支援	身だしなみの支援	身だしなみの支援	身だしなみの支援
40	40	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しめるようになる	食事が楽しめるようになる	食事が楽しめるようになる
41	41	栄養摂取や水分確保の支援	栄養摂取や水分確保の支援	栄養摂取や水分確保の支援	栄養摂取や水分確保の支援
42	42	口腔内の清潔保持	口腔内の清潔保持	口腔内の清潔保持	口腔内の清潔保持
43	43	排泄の自立支援	排泄の自立支援	排泄の自立支援	排泄の自立支援
44	44	便秘の予防と対応	便秘の予防と対応	便秘の予防と対応	便秘の予防と対応
45	45	入浴を楽しむことのできる支援	入浴を楽しむことのできる支援	入浴を楽しむことのできる支援	入浴を楽しむことのできる支援
46	46	安眠や休息の支援	安眠や休息の支援	安眠や休息の支援	安眠や休息の支援



4 9	住み替え時の協働による防止	本人が別居に及ぶのを防ぐため、話し合い、住み替えに努める	かムかホルムやグループへ移るに努める	家族間の関係交換を促進する
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1 その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
5 0	2 0 プライバシーの確保の徹底	一人ひとりのプライバシーを損ねない	誇りや言葉の扱い	個人情報や個人情報の取扱い
5 1	利用者の希望や自己表出の支援	本人が働きたい、希望を表明し、実現できるように支援する	希望を表明し、実現できるように決める	力をつける
5 2	2 1 日々の暮らし	職員側の決まりや都合を優先する	決まりや都合を優先する	優先する
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
5 3	身だしなみやおしゃれの支援	その人ができる範囲で支援する	身だしなみやおしゃれを支援する	身だしなみやおしゃれを支援する
5 4	2 2 食事を楽しむ	食事が楽しめるようになる	食事を楽しくする	食事を楽しくする

5 3	共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中で、利用者の気持ちに配慮する	共用空間の中で、利用者の気持ちに配慮する
5 4	2 0 居心地よく過ごせる居室の配慮	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室は、泊まりの部屋は、使われる人や家族との相談し、プライバシーが確保されるように配慮する	居室は、泊まりの部屋は、使われる人や家族との相談し、プライバシーが確保されるように配慮する
5 5	一人ひとりの安全な環境づくり	一人ひとりの安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの安全を確保する	建物内部は一人ひとりの安全を確保する
V アウトカム項目				
5 6	職員は、利用者の思いや意向を掴んでいる	職員は、利用者の思いや意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の3分の2 ②利用者の3分の1 ③ほとんどの利用者の3分の1 ④ほとんどいない	①ほぼ全ての利用者の3分の2 ②利用者の3分の1 ③ほとんどの利用者の3分の1 ④ほとんどいない
5 7	利用者と職員が、一緒に過ごす場がある	利用者と職員が、一緒に過ごす場がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
5 8	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が3分の2 ②利用者の3分の1 ③ほとんどの利用者が3分の1 ④ほとんどいない	①ほぼ全ての利用者が3分の2 ②利用者の3分の1 ③ほとんどの利用者が3分の1 ④ほとんどいない
5 9	利用者は、職員と協力し、生活や表情が支えられている	利用者は、職員と協力し、生活や表情が支えられている	①ほぼ全ての利用者が3分の2 ②利用者の3分の1 ③ほとんどの利用者が3分の1 ④ほとんどいない	①ほぼ全ての利用者が3分の2 ②利用者の3分の1 ③ほとんどの利用者が3分の1 ④ほとんどいない



	とのできる支援	う、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。
5 5	本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこの状態に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。
5 6	気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄習慣を活かすよう支援している。
5 7	入浴を楽しむことが出来る支援	曜日や時間帯を職員が都合で決めたり、一人ひとりに合わせて、希望するように入浴を支援している。
5 8	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時の状況に応じて、安心して眠れるよう支援している。
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	
5 9	2 4 役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみをい
6 0	お金の所持や使うことでの支援	職員は、本人がお金を持つこと、お金の大切さを理解して、一人ひとりの希望や力に応じて、お金の所持や使うことでの支援

			れている		
6 0	利用者は、戸外へ行くことができる	利用者は、健康、安全で過ごしている	利用者は、戸外へ行くことができる	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
6 1	利用者は、健康、安全で過ごしている	利用者は、健康、安全で過ごしている	利用者は、健康、安全で過ごしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
6 2	利用者は、状況に応じて支えている	利用者は、状況に応じて支えている	利用者は、状況に応じて支えている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない	
6 3	職員は、家族が困っていること、不安なことをよく聞いており、信頼関係ができています	職員は、家族が困っていること、不安なことをよく聞いており、信頼関係ができています	職員は、家族が困っていること、不安なことをよく聞いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない	
6 4	通いの場やグループミーティングの場や一人ひとりの来	通いの場やグループミーティングの場や一人ひとりの来	通いの場やグループミーティングの場や一人ひとりの来	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	
6 5	運営しやと民者のり所	運営しやと民者のり所	運営しやと民者のり所	①大いに増えている ②少しづつ増えている ③あまり増えない ④全くない	

6 1	2 5	日常的な外出支援	援している 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりの外出に支障がないように支援している
6 2		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ける場所や利用者の個別支援を、家族や利用者をつくり、支障なく行けるよう支援している
6 3		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自ら取りかかると、手紙のやり取りが難しいよう支援している
6 4		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みに訪問し、気持ちがよくなるよう工夫している
(4) 安心と安全を支える支援			
6 5		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全員の職員が「介護の禁止」を正しく理解し、身体的拘束をしないケアに取り組んでいる
6 6	2 6	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全員の職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることを避け、鍵を解錠し、鍵をかけるケアに取り組んでいる
6 7		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーを配慮し、安全に配慮している

6 6		援者が増えている 職員は、活きている	① ほぼ全ての職員が ② 職員の3分の2くらいが ③ 職員の3分の1くらいが ④ ほとんどいない
6 7		職員から見えて、利用者はおいて、サービスは満足している	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の3分の2くらいが ③ 利用者の3分の1くらいが ④ ほとんどいない
6 8		職員から見えて、利用者はおいて、サービスは満足している	① ほぼ全ての家族等が ② 家族の3分の2くらいが ③ 家族の3分の1くらいが ④ ほとんどできていない

6 8	注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になくすの必要はなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている
6 9	事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる
7 0	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている
7 1	2 7 災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけるよう、日ごろより地域の人々への働きかけを行っている
7 2	リスク対応等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧対応を話し合っている
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援		
7 3	体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの対象の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報共有し、対応に結びつけている
7 4	服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている
7 5	便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影

			響を理解し、予防と対応のためす の飲食物の工夫や身体を動かす 働きかけ等に取り組んでいる
76	口腔内の清潔保持		口の中の汚れや臭いが生じない よう、毎食後、一人ひとりの口 腔状態や力に応じた支援をして いる
77	栄養摂取や水分 確保の支援	28	食量やバランス、水分量が 1日を通じて確保できるよう、 一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている
78	感染症予防		感染症に対する予防や対応の取 り決めがあり、実行している(イ ンフルエンザ、疥癬、肝炎、M RSA、ノロウイルス等)
79	食材の管理		食中毒の予防のために、生活の 場としての台所、調理用具等の 衛生管理を行い、新鮮で安全な 食材の使用と管理に努めている
2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		
(1)居心地のよい環境づくり			
80	安心して出入り できる玄関まわ りの工夫		利用者や家族、近隣の人等にと って親しきやすうに、安心して出 入り周囲の工夫をしている
81	居心地のよい共 用空間づくり	29	共用の空間(玄関、廊下、居間、 台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとつて不快な音や 光や季節感を感じ、生活心地 よく過ごせようとする工夫をして いる

8 2	共用空間におりける居場所づくり	共用空間の中には、独りになりたがる利用者もいるが、思い通りの工夫をすることで、気持ちよく過ごせるようにしている
8 3	3 0 居心地よく過ごせる居室の配慮	居室は、使われている部屋の雰囲気や、家具の配置、照明の明るさなど、住み心地をよくするために工夫している
8 4	換気・空調の配慮	気配りや空調の調節など、温度調節がしやすいように工夫している
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり		
8 5	身体機能を安全に活かす環境づくり	建物内は一人ひとりの身体機能に合わせた工夫をすることで、安全に生活できるようにしている
8 6	わかる力を活かした環境づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している
8 7	建物の外回りや空間の活用	建物の外回りやベランダを利用できるように工夫している
V サービスの成果に関する項目		
8 8	職員は、利用者の思いや方向性を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の2割程度の3割程度の3割程度の1割程度の② ほぼ全ての利用者の3割程度の3割程度の1割程度の③ ほぼ全ての利用者の3割程度の3割程度の1割程度の④ ほぼ全ての利用者の3割程度の3割程度の1割程度の

89	利用者や職員が、 一緒に過ごす場面 がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人 ひとりで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	職員とたら 、るこしみが は、るききが 支援きや姿が で表れている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、たか け、たか へ、たか る、たか こ、たか い、たか	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康、な 管理や医療不安 安く過ごしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、状態に 々々々々々々々々々々 望に支えられて 望に支えられて 望に支えられて 望に支えられて	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が 困っていること、求 不安なことを、求 めたいこと、求 よく聞いておいて 信頼関係ができて	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない











いなど、安定的な事業運営の可能性に疑義があるとき。

2. 評価調査員の要件

(1) 評価調査員は、当該評価調査員が属する評価機関が所在する都道府県又は都道府県が指定した法人が実施する調査員養成研修を受講しているものであること。

ただし、他の都道府県又は指定する法人において実施された調査員養成研修又は関連の研修（認知症介護実践研修（旧実務者研修を含む）、介護相談員養成研修等）を既に修了した者にあつては、カリキュラムの全部又は一部が重複している場合には、選定を行う都道府県の判断により、当該部分を受講していなくてもこの条件を満たしたものと取り扱って差し支えない。

(2) 評価調査員は、第三者としての客観的な観点から評価の実務を行うに当たつて、不適当と認めらるる事由がない者であること。

(不適当である例)

- ア 小規模多機能型居宅介護事業所又は認知症対応型共同生活介護事業所を運営している者。
- イ 小規模多機能型居宅介護事業所又は認知症対応型共同生活介護事業所に勤務している者。
- ウ 小規模多機能型居宅介護事業者又は認知症対応型共同生活介護事業者により組織される団体の役職員。

3. 評価機関の選定手続等

(1) 都道府県は、都道府県の評価機関としての選定を受けようとする法人は、都道府県の評価機関として次の書類を提出し、審査を受けるものとする。

- ① 評価機関選定の申請書
- ② 法人の定款、寄附簿
- ③ 評価調査員等の名簿
- ④ 評価委員等の職名簿及び各委員の就任承諾書
- ⑤ 評価団体の数及びその算定根拠
- ⑥ 評価手数料の算定根拠
- ⑦ その他都道府県において必要と認める書類

(2) 評価機関は、選定を受けた後に前項の内容のいずれかに変更が生じたとき、変更後の当該書類を遅滞なく都道府県に提出するものとする。

(3) 都道府県は、評価機関を選定したときは、当該機関の名

等手続等  
評価機関の選定から都道府県の評価機関としての選定を受けようとする法人は、都道府県の評価機関として次の書類を提出し、審査を受けるものとする。

- ① 評価機関選定の申請書
- ② 法人の定款、寄附簿
- ③ 評価調査員等の名簿
- ④ 評価委員等の職名簿及び各委員の就任承諾書
- ⑤ 評価団体の数及びその算定根拠
- ⑥ 評価手数料の算定根拠
- ⑦ その他都道府県において必要と認める書類
- ⑧ 当該機関の選定を受けた後に前項の内容のいずれかに変更が生じたとき、変更後の当該書類を遅滞なく都道府県に提出するものとする。

(2) 評価機関は、選定を受けた後に前項の内容のいずれかに変更が生じたとき、変更後の当該書類を遅滞なく都道府県に提出するものとする。

(3) 都道府県は、評価機関を選定したときは、当該機関の名

連絡事業、たしするもの、通提供評と道都事後の事も

(4) 管内の事業、たしするもの、通提供評と道都事後の事も

(5) 管内の事業、たしするもの、通提供評と道都事後の事も

連絡事業、たしするもの、通提供評と道都事後の事も

(4) 管内の事業、たしするもの、通提供評と道都事後の事も

(5) 管内の事業、たしするもの、通提供評と道都事後の事も

- ① 都道府県は、選定した評価機関について選定の要件が具備され、前記の調査等がなされるときは、積極的にこれに協力するものとする。
- ② 都道府県は、選定した評価機関について選定の要件が具備され、前記の調査等がなされるときは、積極的にこれに協力するものとする。
- ③ 都道府県は、選定した評価機関について選定の要件が具備され、前記の調査等がなされるときは、積極的にこれに協力するものとする。
- ④ 都道府県は、選定の撤回に当たっては、文書をもって通知しなければならないものとする。

- ① 都道府県は、選定した評価機関について、毎年、外部評価の実績、選定した評価機関の職員から状況を聴取し、必要に応じて、選定の要件が具備されているかを確認するため、書類の提出を求め、評価機関の職員から状況を聴取し、又は必要ない場合は、選定の撤回を撤回するものとする。
- ② 都道府県は、前記の調査等がなされるときは、積極的にこれに協力するものとする。
- ③ 都道府県は、現に外部評価業務が行われていないとき、又は、評価業務を欠く具体的な事実を確認し、是正を求め、必要ない場合は、選定の撤回に当たっては、文書をもって通知しなければならないものとする。

4 (1) 都道府県は、すべての評価機関を集めた研修等を開催するなど、管内の評価機関の評価の向上を図るための取組を行うものとする。

(2) 都道府県は、管内の介護サービス事業所設置数及び介護保険事業支援計画等を踏まえ、設置見込み数を動かし、管

4 (1) 都道府県は、すべての評価機関を集めた研修等を開催するなど、管内の評価機関の評価の向上を図るための取組を行うものとする。

(2) 都道府県は、管内の介護サービス事業所設置数及び介護保険事業支援計画等を踏まえ、設置見込み数を動かし、管

内のすべての事業所について少なくとも1年に1回の外部  
評価を実施することが可能な評価調査員の数を確保すること  
と。この際、1つの事業所に対し複数の評価調査員が共同  
で評価を実施することに留意すること。

なお、管内において既に外部評価を実施する評価機関が  
選定されている場合又は複数の評価機関が評価業務を行う  
ことを申し出ている場合には、各評価機関の規程等を勘案  
した上で、それぞれ適切と認められる数の評価調査員を確  
保し、全体として管内のすべての事業所に対する外部評価  
が円滑に行われるようにすること。

(別記)  
1 評価調査員が履修すべき標準的なカリキュラム  
(新規養成用)

(削除)

講義	内容	時間
高齢者が地域で暮らし続けるための介護の理解	① 地域での高齢者の暮らし ② 認知症をもたらし病気を ③ 認知症の人の特徴とたどる 経過 ④ これからの高齢者及び認知症の人の介護	講義 100分 演習 20分
小規模多機能型居宅介護及び生活介護の理解	① 歴史 ② 特徴と役割 ③ 制度の理解 ④ 現状と課題	講義 180分 演習 60分
サ－ビス評価の必要性と目的	① サ－ビス評価の目的 ② サ－ビス評価の位置付け ③ サ－ビス評価の質の確認	講義 90分 演習 30分
サ－ビス評価の流れと手続き	① サ－ビス評価の進め方 ② 評価項目の内容と理解 ③ 評価調査の具体的な手法	講義 200分 演習 40分
訪問調査実習	① 実地訪問調査 ② 調査報告書記入演習	訪問 330分 演習 150分
実習を踏まえた調査方法、項目の理解	① 調査方法について ② 評価項目の理解について ③ 報告書記入方法について	講義 150分 演習 180分

研修のまとめ	研修修了後レポート作成	30分
計		1560分

※ 認知症介護実践研修（旧実践者研修）又は介護相談員養成研修に係る研修者について、当該研修により、前記のうち一部の研修を修了しているものとして取り扱うことができる。

2 既に活動している評価調査員に対するフォローアップ研修カリキュラム例 (削除)

講義	内容	時間
地域密着型サービスホームの理解について	① 地域密着型サービスの理解 ② グループホームについて	講義 50分
小規模多機能型居宅介護の基本的理解	① 小規模多機能型居宅介護の歴史、特徴と役割 ② 小規模多機能型居宅介護の制度の理解	講義 100分
評価項目の内容、理解	① 評価項目の構造理解 ② 評価項目の内容	講義 120分
評価調査員の力量向上に向けて	① 事業所との対話方法（ヒアリングの仕方） ② 調査報告書の記入方法	講義 60分 演習 60分
計		390分

(別紙2の2)  
評価調査員養成等研修の実施について

外部評価の評価機関の評価調査員が受講することとしている  
研修については次のおりであるので、各都道府県におかれて  
は、これに基づき研修を実施するとともに、管内の評価機関に  
対し周知されたい。

1 実施主体  
評価調査員養成研修の実施主体は、都道府県又は都道府県  
知事が指定した者（以下「指定研修機関」という。）とする。

2 対象者  
(1) 評価調査員養成研修  
外部評価を実施する評価機関に属する者（予定を含む。）  
であって、今後評価調査員として従事しようとするもの。  
(2) フォローアップ研修  
外部評価を実施する評価機関に属する者であって、現に  
評価調査員として従事しているもの。

3 研修科目及び研修時間数等  
評価調査員養成研修及びフォローアップ研修に係る研修科  
目及び研修時間数等については別添のとおりとする。

4 名簿の取扱いについて  
都道府県知事又は指定研修機関の長は、研修修了者に対し、  
修了証明書を交付するとともに、研修修了者について、修了  
年月日、氏名、生年月日等必要事項を記載した名簿を作成し、  
管理する。

5 指定研修機関の指定に係る留意事項  
(1) 指定研修機関の指定に係る要件  
指定研修機関の指定を行うに当たっては、以下の要件を  
満たすものでなければならぬ。  
① 評価調査員が所屬する評価機関を運営する法人以外の  
法人であること。ただし、評価調査員が所屬する評価機  
関を運営する法人であって、研修を実施する部署と外部



評価を実施する部署とが独立した関係にあるなど、研修の  
実施状況を客観的に確認することができると都道府県  
知事が認める場合には、この限りではない。

- ② 講師、会場等の研修体制及び事務処理体制が確保され  
ていること。
- ③ 会計帳簿、決算書類等が整備されとともに、適  
正な経理処理が行われていること。
- ④ 研修修了者名簿等を継続的に管理する体制が確保され  
ていること。

(2)

指定研修機関に係る要件  
指定研修機関は、以下について適切に行われなければならない。

- ① 研修受講者に研修内容等を明示するため、少なくとも  
次に掲げる事項を明らかにした規程を定めること。

研修事業の名称

実施場所

研修期間

研修課程

講師氏名

研修修了の認定方法

受講資格

受講手続き

受講料等

- ② 研修の受講状況等を把握し、保存すること。
- ③ 事業運営上知り得た研修受講者に係る秘密の保持につ  
いては、厳格に行うこと。
- ④ 演習等において知り得た個人の秘密の保持について厳  
格に行うとともに、研修受講者に対しても、この点につ  
き十分に留意するよう指導すること。

(別添)

## 1 評価調査員養成研修 (標準カリキュラム)

講義	内容	時間
高齢者が地域で暮らし続けるための介護の理解	① 地域での高齢者の暮らし ② 認知症をもたらす病気の経過 ③ 認知症の人の特徴とたどる経路 ④ これからの高齢者及び認知症の人の介護	講義 100分 演習 20分
小規模多機能型居宅介護及び認知症対応型共同生活介護の基本理解	① 歴史 ② 特徴と役割 ③ 制度の理解 ④ 現状と課題	講義 180分 演習 60分
サービス評価の必要性と目的	① サービス評価の目的 ② サービス評価の位置付け ③ サービス評価の質の確認	講義 90分 演習 30分
サービス評価の流れと手続き	① サービス評価の進め方 ② 評価項目の内容と理解 ③ 訪問調査の具体的な手法	講義 200分 演習 40分
訪問調査実習	① 実地訪問調査 ② 調査報告書記入演習	訪問 330分 演習 150分
実習を踏まえた調査方法、項目の理解	① 調査方法について ② 評価項目の理解について ③ 報告書記入方法について	講義 150分 演習 180分

研修のまとめ	研修終了後レポート作成	30分
計		1560分

2 フォロワーアップ研修（標準カリキュラム）

講義	内容	時間
外部評価制度の改正について	① 平成21年度の外部評価制度の改正について ② 介護サービス情報の公表制度と外部評価制度の趣旨及び目的等の理解	講義 90分
外部評価の課題整理	外部評価の今までの振り返り	演習 30分
評価項目の内容、理解	① 評価項目の改定について ② 評価項目の内容	講義 90分
評価調査員の力量向上に向けて	① 事業所との対話方法（ヒアリング演習） ② 外部評価票の記入方法（記述演習）	演習 90分
研修のまとめ	筆記試験	30分
計		330分

改正前	改正後
<p>(別紙3) 小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所に係る外部評価実施要領(ひな形)</p> <p>〔評価機関の名称〕(以下、「当機関」という。)における小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所の外部評価の実施については、本実施要領に定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域密着型サービス等の外部評価の目的と基本方針(各評価機関において記入)</li> <li>2. 外部評価の体系及び評価項目       <ul style="list-style-type: none"> <li>別添1によるものとする。</li> <li>なお、認知症対応型共同生活介護事業所については、評価を受ける事業所が複数のユニットで構成されている場合は、評価を個別に実施する場合を除き、下記の評価手続はすべてをユニットとして行うものとする。</li> </ul> </li> <li>3. 外部評価の構成       <ul style="list-style-type: none"> <li>外部評価は、当機関の委嘱する複数の評価調査員(そのうち実施された評価は、評価調査員と「訪問調査」の結果を総合した上で、当面調査として決定)に基づき行う。</li> </ul> </li> <li>4. 当面調査       <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所から外部評価の依頼を受けた場合には、事業所に基き契約の締結、評価手数料の受領を行った後に、「現況調査」と「自己評価調査」を行うため、次の書面の提出を求めらる。</li> <li>(1) 事業所の運営概要、利用契約書、重要事項説明書、パンフレット等</li> <li>(2) 事業所のサービス提供概要が分かる書類 例えば、介護計画書・業務日誌の様式、職員勤務時間表、食事内容の記録等</li> <li>(3) 自己評価票(様式1)           <ul style="list-style-type: none"> <li>複数のユニットごと</li> <li>の場合、各ユニットごと</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>	<p>(別紙3の1) 小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所に係る外部評価実施要領(ひな形)</p> <p>〔評価機関の名称〕(以下、「当機関」という。)における小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護事業所の外部評価の実施については、本実施要領に定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ～ 3. (略)</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 書面調査       <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所から外部評価の依頼を受けた場合には、事業所に基き契約の締結、評価手数料の受領を行った後に、「現況調査」と「自己評価調査」を行うため、次の書面の提出を求めらる。</li> <li>(1) 事業所の運営概要、利用契約書、重要事項説明書、パンフレット等</li> <li>(2) 事業所のサービス提供概要が分かる書類 例えば、介護計画書・業務日誌の様式、職員勤務時間表、食事内容の記録等</li> <li>(3) 自己評価及び外部評価結果(別紙4)           <ul style="list-style-type: none"> <li>別紙4の「1 自己評価及び外部評価結果」(外部評価に係る記入欄を除く)について記載したもの</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>



(1) 報告書の内容を検討し、当機関としての評価結果を決定する。いづれの場合にあっても、(1)の報告書又はいたされた事項の審査を行う必要がある。別添4)を関係として評価する。審査の結果を踏まえ、当機関として評価する。

7. 当機関は、事業所から審査結果を決定し、事業所から提出された様式及び福祉保健医療情報ネットワーク法による「WAMNET」に掲載する。また、事業所が受けた事後の改善状況を「WAMNET」に掲載する。

8. その他、実施要領は、評価を受ける事業所からの求めに応じて開示することとする。

- (別添1) 外部評価項目
- (別添2) 情報公開項目
- (別添3) 自己評価項目
- (別添4) 評価審査委員会委員名簿

\* 別添1～別添3については、各都道府県において定めた項目を添付。

(1) 評価結果の内容を検討し、当機関としての評価結果を決定する。いづれの場合にあっても、(1)の評価結果又はいたされた事項の審査を行う必要がある。別添4)を関係として評価する。審査の結果を踏まえ、当機関として評価する。

7. 当機関は、事業所から審査結果を決定し、事業所から提出された様式及び福祉保健医療情報ネットワーク法による「WAMNET」に掲載する。また、事業所が受けた事後の改善状況を「WAMNET」に掲載する。

8. 当該事業所としての評価結果に関する情報は、当該事業所が受けた事後の改善状況を「WAMNET」に掲載する。

- (別添1) 自己評価項目
- (別添2) 外部情報項目
- (別添3) 情報公開項目
- (別添4) 評価審査委員会委員名簿

\* 別添1～別添3については、各都道府県において定めた項目を添付。







のサービスの質の評価に係る研究及び事業報告等を行うため、甲の提出した資料を用いて統計分析を行うことができる。

(別途協議)

第11条 この契約に定めのない事項については、甲乙双方協議の上定める。

この契約の成立を証するため、本契約書を2通作成し、甲乙各1通を保有する。

平成 年 月 日

(委託者) 甲 [事業者の名称、住所、代表者の名前 印]

(受託者) 乙 [評価機関の名称、住所、代表者の名前 印]

(別途協議)

第10条 この契約に定めのない事項については、甲乙双方協議の上定める。

(略)

改正前

(別紙4)

【小規模多機能型居宅介護用】

1 評価結果概要票

作成日 平成 年 月 日

【評価実施概要】

事業所番号	
法人名	
事業所名	
所在地	(電話)
評価機関名	
所在地	
訪問調査日	評価確定日

【情報提供項目より】( 年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	人	常勤	人	非常勤	人	常勤換算	人
職員							

(2) 建物概要

建築物構造	隣接の	造り
		階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

宿泊費(1泊)	朝食	円	昼食	円	円程度
食材料費	夕食	円	おやつ	円	円
その他日常生活において必要な費用 円につき、おおよそ 円程度					

(4) 登録者の概要

登録人数	名	男性	名	女性	名
要介護1		要介護2			
要介護3		要介護4			
要介護5					
要支援1		要支援2			
年齢	平均	最低	最高		歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	
---------	--

改正後

(別紙4)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 年 月 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	
法人名	
事業所名	
所在地	
自己評価作成日	評価機関所定日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。  
 添本情報リンク先URL

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

--

(削除)

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況 (関連項目：外部4)
重点項目①	前回の自己評価に対する取組状況 (関連項目：外部4)
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組 (関連項目：外部4、5、6)
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7、8)
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)

【認知症対応型共同生活介護用】

1 評価結果概要

作成日 平成 年 月 日

【評価実施概要】

事業所番号	
法人名	
事業所名	
所在地	(電話)

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	評価確定日

【情報提供項目より】( 年 月 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 年 月 日
ユニット数	ユニット 利用定員 設計 人
職員数	人 常勤 人、非常勤 人、常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	造り
建設中の	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( ) 円、無( ) 円			
保証金の有無(入居一時金含む)	有( ) 円、無( ) 円	有りの場合	有/無	
食料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日あたり			
その他日常生活に おいて必要な費用	1日につき、およそ	円	～	円程度

(4) 利用者の概要

要介護人数	男性	名	女性	名
要介護1	要介護2			
要介護3	要介護4			
要介護5				
要支援1	要支援2			
年齢	平均	歳	最低	歳
			最高	歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	
---------	--

(削除)

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】	
【重点項目への取組状況】	
重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4）
重点項目①	前回の自己評価に対する取組状況（関連項目：外部4）
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み（関連項目：外部4、5、6）
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7、8）
重点項目④	日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）

2 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	項目	取組の実施している内容・実施していない内容	取組を期待している内容(予定)	取組を期待している内容(予定)	取組を期待している内容(予定)
		1	理念に基づき運営				
		1	1 理念の共有				
		1	1 1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている				
		2	2 2 〇理念の共有と日々の取組 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる				
		2	2 地域との支えあい				
		3	3 5 〇地域との支えあい 事業所は孤立することなく地域の職員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている				
		3	理念を実践するための制度の理解と活用				
		4	7 〇評価の意義の理解と活用 管理者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。				

※ [ ] は、重点項目  
 ※ WAMNET に公開する際には、本様式のほか、本様式から抽出された自己評価票(様式1)を添付すること。  
 以下、(略)

外部評価	自己評価	項目	外部評価		
			実施状況	実施状況	
		1	1 〇理念に基づき運営 1 〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意識を踏まえ、事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている		
		2	2 〇事業所と地域との支えあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している		
		3	〇事業所を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて種目上げている認知症の人々の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている		
		4	3 〇運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実施、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見やサービス向上に活かしている		
		5	4 〇市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる		

6	<p>○身体拘束をしないケアの実践        代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対応となる具体的な行為」を正しく理解しており、適切な施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>			
7	<p>○虐待の防止の徹底        管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>			
8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用        管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>			
9	<p>○契約に関する説明と納得        契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を聞き、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>			
10	<p>6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映        利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ送る機会を設け、それらを運営に反映させている</p>			
11	<p>7 ○運営に関する職員意見の反映        代表者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>			

12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている			
13	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実施と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていることを進めている			
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワーキングづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている			
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている			
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている			



18	○本人と共に過ごし交え合う関係 配偶は、本人を介懐される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている				
19	○本人と共に交え合う家族との関係 配偶は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている				
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている				
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、交え合えるような支援に努めている				
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている				
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。				

24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経緯等の把握に努めている			
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている			
26	10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、チーム間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に変えられるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを築き上げることができるよう支援している			

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかから、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、風俗を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている			

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
35	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている			
37		○利用者の希望の募出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を募したり、自己決定できるように働きかけている			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その目まどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
39		○身だしなみやおしゃべりの支援 その人らしい身だしなみやおしゃべりができるように支援している			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるように、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

42	<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>				
43	<p>16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>				
44	<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>				
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を築きめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、まわすに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>				
46	<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその他の状況に応じて、休憩したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>				
47	<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>				

49	○役割、楽しみごとの交換 盛り合いや喜びのある日々を通して、一人ひとりの生活感や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の交換をしている			
49.18	○日常的な外出交換 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう交換に努めている。また、春段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように交換している			
50	○お金の所持や使うことの交換 腫員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように交換している			
51	○電話や手紙の交換 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように交換をしている			
52.19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れ、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている			

54	○居心地よく過ごさせる居残の配慮 居残あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを揃かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている				
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している				
V アウトカム項目					
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んで いる。 (参考項目：23, 24, 25)				1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど廻んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)				1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)				1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や 姿がみられている (参考項目：36, 37)				1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)				1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせ ている。 (参考項目：30, 31)				1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援に より、安心して暮らしている。 (参考項目：28)				1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めている ことをよく聞いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)				1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	<p>遠い場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>	<p>1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通じて、地域住民や地元の関係者とのつながりの強がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	<p>1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない</p>
66	<p>職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	<p>1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見ても、利用者はサービスにおおむね満足していると思ふ。</p>	<p>1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見ても、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思ふ。</p>	<p>1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない</p>



2 目標達成計画

事業所名 \_\_\_\_\_  
 作成日 平成 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
 注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

3 サービス評価の実施と活用状況

事業所の外部評価の実施と活用状況について振り返ります。  
「目標達成プラン」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活用状況についての振り返り】

実施段階		振り返るものすべてに○印)	取り組んだ内容
1 サービス評価の事前準備	① 話し合った		運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	② 利用者へのサービス評価について説明した		利用者へのサービス評価について説明した
	③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力を依頼した。		利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力を依頼した。
	④ 運営推進会議でサービス評価を説明するとともに、どのように評価機関を選択したかについて報告した		運営推進会議でサービス評価を説明するとともに、どのように評価機関を選択したかについて報告した
	⑤ その他 ( )		その他 ( )
2 自己評価の実施	① 自己評価を職員全員が実施した		自己評価を職員全員が実施した
	② 前回のサービス評価で得た目標の達成状況について、職員全員で話し合った		前回のサービス評価で得た目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った。		自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った。
	④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、課題解決を図った		評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、課題解決を図った
	⑤ その他 ( )		その他 ( )
3 外部評価（訪問調査当日）	① 要約の現場の雰囲気を見てもらったり、ヒアリングで日頃の業務内容を聞いてもらった		要約の現場の雰囲気を見てもらったり、ヒアリングで日頃の業務内容を聞いてもらった
	② 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と評価員に意見交換ができた		評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と評価員に意見交換ができた
	③ 対話から、事業所が努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た		対話から、事業所が努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	④ その他 ( )		その他 ( )
	⑤ 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った		運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
4 評価結果（自己評価、外部評価）の公開	① 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った		利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	② 市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況について話し合った		市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況について話し合った
	③ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った		運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	④ その他 ( )		その他 ( )
	⑤ 職員全員で次のステップに向けた話し合い、「目標達成プラン」を作成した		職員全員で次のステップに向けた話し合い、「目標達成プラン」を作成した
5 サービス評価の活用	① 「目標達成プラン」を利用者、利用者家族や運営推進会議へ説明し、協力や共に取り組むこと（する）を促した		「目標達成プラン」を利用者、利用者家族や運営推進会議へ説明し、協力や共に取り組むこと（する）を促した
	② 「目標達成プラン」を市区町村へ説明し提出した（する）		「目標達成プラン」を市区町村へ説明し提出した（する）
	③ 「目標達成プラン」に則り、目標を目標として取り組んだ（取り組む）		「目標達成プラン」に則り、目標を目標として取り組んだ（取り組む）
	④ その他 ( )		その他 ( )
	⑤ その他 ( )		その他 ( )

(様式1)

自己評価票 (参考例)

(削除)

項 目	取組の事実 (実施している 内容・実施して いない内容)	○印 (取組みを精 進したい項目)	取組みを期待 したい内容(すでに 取組んでいることも含 む)
1 理念に基づく運営			
1 理念の共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている			
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取組んでいる			
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし 続けることを大切にした理念を、家族や 地域の人々に理解してもらえよう取組 んでいる			
2 地域との交流			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に 声をかけ合ったり、気軽に立ち寄っても らえるような日常的なつきあいができる ように努めている			

※  は、外部研修との共通項目 以下、(中略)

項 目	取組む場所を○で囲むこと	取 組 みの 成 果
V サービスの成果に関する項目		
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の 意向を掴んでいる		①は全ての利用者の2/3くらいが ②利用者の1/3くらいが ③ほとんど掴んでいない
89 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす 場面がある		①数日に1回程度ある ②たまにある ③ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らして いる		①は全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生き とした表情や姿がみられている		①は全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけ ている		①は全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不 安なく過ごせている		①は全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない

以下、(略)

(様式2)

小規模多機能型居宅介護事業所に係る情報提供票

(削除)

(平成 年 月 日)

1) 事業主体の概要

事業所名	事業主体名
	代表者名
	研修の受講状況
	<input type="checkbox"/> 受講済 <input type="checkbox"/> 未受講
	上記以外の者が受講している場合
	氏名( ) 役職( )

2) 事業の目的及び事業の方針

3) 介護予防事業所としての指定状況

指定介護予防小規模多機能型居宅介護

4) 組織の概要

所在地及び連絡先 TEL FAX

交通の便(最寄りの交通機関等)

開設年月日平成 年 月 日 登録定員等

常勤定員( )人  
通いサービスの利用定員( )人  
宿泊サービスの利用定員( )人

5) 建物の概要

建物形態  単独型  併設型 ( )

建物構造 ( ) 造り ( ) 階建ての ( ) 階部分)

敷地面積 ( ) m<sup>2</sup> 延床面積 ( ) m<sup>2</sup>

居間及び食事の面積 ( ) m<sup>2</sup>

広さ等 宿泊室について 1室当たりの居室面積 ( ) m<sup>2</sup>

個室 ( ) 室 個室以外の宿泊室 ( ) 室

個室以外の宿泊室の合計面積 ( ) m<sup>2</sup>

6) 営業時間帯等

通いサービス ( ) 時 ~ ( ) 時

宿泊サービス ( ) 時 ~ ( ) 時

訪問サービス 24時間

運営の事業の実施地等

7) 利用料等(入居者の負担額)

朝食 ( ) 円 居食 ( ) 円

夕食 ( ) 円 おやつ ( ) 円

宿泊費 ( ) 円

①おむつ代

名目 徴収方法 金額(円)

その他の費用と徴収方法



(削除)

実践研修 (実践者研修) (実践リーダー研修) 上記の研修の他に受講した研修名 ( ) 受講者 ( ) 名 ( ) 受講者 ( ) 名	<input type="checkbox"/> 受講済 <input type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/> 受講済 <input type="checkbox"/> 未受講
職員交代の状況① 管理者の交代回数 ( ) 回 (理由)	
② 計画作成担当者の交代回数 ( ) 回 (理由)	
③ 常勤職員の交代回数 ( ) 回 (理由)	
10) その他	
協力医療機関名	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
運営推進委員の設置状況	開催状況 ( ) 月に ( ) 回 メンバー構成 (役職等)
市町村との連携状況	
介護相談員等の導入状況	<input type="checkbox"/> 有 (具体的に記入下さい) <input type="checkbox"/> 無
注)	
最近の外部評価公表日 (市町村が受理した日)	平成 年 月 日

注) 「介護相談員」とは、「介護相談員派遣等事業の実施について」(平成18年5月24日老社発第052401号厚生労働省老健局計画課長通知)に基づき市町村より派遣され、介護サービス提供の場において、サービスの提供等・利用者等の話を聞き、相談に応じる等の活動を行う者のこと。

(記入上の留意事項)

- 1 「□」を設けている欄については、該当部分にレ点でチェックすること。
- 2 記載事項については、簡潔明瞭に記載すること。
- 3 9)において記載している各研修については、それぞれ「実践者研修」には旧基礎研修を、「実践リーダー研修」には旧専門課程を含んでいるので、留意されたい。
- 4 下線部( )については、介護保険法施行規則第131条の10第1項第3号に該当する事項であることから、記載があった場合には、10日以内に届け出る必要がある。

認知症対応型共同生活介護事業所に係る情報提供票

(削除)

(平成 年 月 日)

1) 事業主体の概要

事業所名	事業主体名
	代表者名
	所長の氏名(姓)..... <input type="checkbox"/> 受贈済 <input type="checkbox"/> 未受贈
	上記以外の者が受贈(氏名).....
	している場合(役職).....

2) 事業の目的及び事業の方針

--

3) 介護予防事業所としての指定状況

<input type="checkbox"/> 指定介護予防小規模多機能型居宅介護
<input type="checkbox"/> 指定認知症対応型通所介護
<input type="checkbox"/> 医療連携体制加算
<input type="checkbox"/> 短期利用型共同生活介護

4) 組織の概要

所在地及び連絡先	〒	TEL
		FAX
交通の便(最寄りの交通機関等)		
開設年月日	昭和・平成 年 月 日	ユニット数( ) ユニット
		利用定員( ) 人
事業所の併設施設(併設施設からのサービスがあればご記入下さい。)		

5) 建物の概要

建物形態	<input type="checkbox"/> 単独型 <input type="checkbox"/> 併設型( )
建物構造	( ) 造り ( ) 階建ての ( ) 部分
広さ	敷地面積 ( ) m <sup>2</sup> 延床面積 ( ) m <sup>2</sup>
	1室当たり居室面積 ( ) m <sup>2</sup>
二人部屋の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

6) 利用料等(入居者の負担額)

家賃(月額)	( ) 円
敷金	<input type="checkbox"/> 有 ( ) 円 <input type="checkbox"/> 無
保証金の利率(入居一円金)	<input type="checkbox"/> 有 ( ) 円 <input type="checkbox"/> 無
有の場合	
...税金負担の内空	
有の場合	
償却の有無	<input type="checkbox"/> 有(期間: ) <input type="checkbox"/> 無
朝食	( ) 円 昼食 ( ) 円
夕食	( ) 円 おやつ ( ) 円
又は1日	( ) 円
その他の費用と徴収方法	







- 3 9)において記載している各研修については、それぞれ「実践者研修」には旧基礎研修を、「実践リーダー研修」には旧専門課程を含んで、留意されたい。
- 4 下線部( )については、介護保険法施行規則第131条の10第1項第3号に該当する事項であることから、変更があった場合には、10日以内に届け出る必要がある。なお、計画作成担当者については、介護支援専門員である場合についてのみ、届け出が必要となるものである。

(削除)

改正前	改正後
<p>(様式 4)</p> <p>(小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所共通)</p> <p>利用者家族等アンケート用紙</p> <p>以下の質問について、小規模多機能型居宅介護事業所またはグループホーム（以下「事業所」という。）を利用されているご家族（本人）について伺います。当てはまる番号に○をつけてください。</p> <p>(1) 職員は、ご家族の困っていること、不安、求めていることとよく聞いていますか？</p> <p>1 2 3 4</p> <p>(2) 事業所の異動などない場合は、ご家族にわかりやすく説明し、説明も思いませんか？</p> <p>1 2 3 4</p> <p>(3) 職員は、ご家族の介護計画を話し合っていますか？</p> <p>1 2 3 4</p> <p>(4) 職員は、ご家族の思いや願い、要望等をわかってもらっていますか？</p> <p>1 2 3 4</p> <p>(5) 職員は、ご家族やご本人の状況や要望に合わせて、柔軟に対応してご利用できるようになっていますか？</p> <p>1 2 3 4</p> <p>(6) 事業所のサービスや情報が見られない場合は、ご家族やご本人の状況や要望に合わせて、柔軟に対応してご利用できるようになっていますか？</p> <p>1 2 3 4</p> <p>(7) 本館へお出掛けの際は、職員に支障されたいとご要望されていますか？</p> <p>1 2 3 4</p>	<p>(様式)</p> <p>(小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所共通)</p> <p>(略)</p>

- 1 3 出かけている 2 とき出かけている  
 (8) 面 3 業務所について心配な点はないか? 4 わからない健康面や医療面、安全  
 1 3 全くない 2 あまりない  
 (9) 1 3 少ない 4 多い 2 4 大いにある 3 家族が気軽に訪ねて行く  
 1 3 大変行きたい 2 4 行きやすい  
 (10) 1 3 行きたい 2 4 行きたい 3 家族から見ると、職員は生き生きと働いているように見えるか?  
 1 2 3 全一 4 一部の職員が生き生きしている  
 (11) 1 3 生き生きしている 2 4 生き生きしていない  
 1 3 家族から見ると、ご本人は今のサービスに満足しているか? 2 4 どちらともいえない  
 (12) 1 3 満足しているか? 2 4 満足していませんか?  
 1 3 大変満足している 2 4 大変満足しているか? 2 4 大変満足しているか? 2 4 大変満足しているか? 2 4 大変満足しているか?

● 利用されている事業所の良い点、優れている点などをご自由にお書き下さい。

● 利用されている事業所に改善して欲しい点、気になる点などをご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

(削除)

(様式5)

調査報告書

外部評価項目構成

I	理念に基づく運営	項目数
1	地域の共有	11
2	理念の実践	2
3	理念の実践	1
4	理念の実践	3
5	理念の実践	3
II	安心相関の信頼	2
1	安心相関の信頼	2
2	安心相関の信頼	1
III	新たな人ひとりの把握	1
1	新たな人ひとりの把握	6
2	新たな人ひとりの把握	2
3	新たな人ひとりの把握	1
4	新たな人ひとりの把握	2
IV	その人の人らしさを活かす	11
1	その人の人らしさを活かす	9
2	その人の人らしさを活かす	2
	合計	30

訪問調査日	年月日
調査実施の時間	開始 時 分 ~ 終了 時 分

訪問先事業者名	( )
調査実施の時間	( )



(削除)

【小規模多機能型居宅介護用】

1 調査結果概要票

作成日 平成 年 月 日

【ケア実施概要】

事業所番号	
法人名	
事業所名	
所在地	(電話)

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	評価確定日

【情報提供項目より】( 年 月 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	人	常勤人	非常勤人	常勤換算人
職員数				

(2) 建物概要

建物構造	隣接の	～	造り
			階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

宿泊費(泊)	円程度
食料費	円
朝食	円
朝食	円
その他日常生活に おいて必要な費用	円につき、おおよそ 円程度

(4) 要介護者の概要

登録人数	名	男性	名	女性	名
要介護1		要介護2			
要介護3		要介護4			
要介護5					
要支援1		要支援2			
年齢	平均	歳	最低	歳	最高

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

--

(削除)

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4）
重点項目①	前回の自己評価に対する取組状況（関連項目：外部4）
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4、5、6）
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7、8）
重点項目④	日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）



【認知症対応型共同生活介護用】

1 調査結果概要票

作成日 平成 年 月 日

【評価実施概要】

事業所番号	
法人名	
事業所名	
所在地	(電話)

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	評価確定日

【情報提供項目より】( 年 月 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 年 月 日
ユニット数	ユニット
職員数	人
常勤人	人
非常勤人	人
常勤換算人	人

(2) 建物概要

建物構造	造り
隣接の	隣部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	円	その他の経費(月額)	円
敷金	有( ) 無( )		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( ) 無( )	有りの場合	有/無
朝食	円	償却の	円
食料費	円	昼食	円
		おやつ	円
その他日常生活において必要な費用	または1日あたり 円 ~ 円程度		

(4) 利用者の概要

登録人数	名	男性	名	女性	名
要介護1		要介護2			
要介護3		要介護4			
要介護5					
要支援1		要支援2			
年齢	平均	最低	歳	最高	歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

--

(削除)

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4)
重点項目②	前回の自己評価に対する取組状況 (関連項目：外部4)
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組 (関連項目：外部4、5、6)
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7、8)
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)

(削除)

2 調査報告書

主任調査員氏名		同行調査員氏名	
項目	取組みの概要 (実施している 内容・実施して いない内容)	○印 取組みを期 待したい項目	取組みを期待 したい内容(付 き)に取組んで いることも含 む)
外部 評価 価値			
1 理念に基づき運営			
1 理念の共有			
1	1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続 けることを支えていくサービスとし て、事業所独自の理念をつくりあげ ている		
2	2 ○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、 理念の実践に向けて日々取組んで いる		
2 地域との互恵あい			
3	5 ○地域とのつぎあい 事業所は孤立することなく地域の 一員として、自治会、老人会、行事 等、地域活動に参加し、地元の人々 と交流することに努めている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用			
4	7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評 価及び外部評価を実施する意義を理 解し、評価を活かして具体的な改善 に取り組んでいる。		

※  は、重点項目 以下、(略)